

議 会 を も つ と 身 近 な も の に

# ながとろ町 議会だより

## No.12

令和元年  
12月定例会

2月1日発行



### 今号の表紙

～ 穏やかな一年になりますように～



子の年の初めに宝登山神社に参拝し、一年の安寧を祈願しました。

次回定例会は  
**3月10日(火)9時** 開会予定です。

定例会及び臨時会における本会議を、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、会議の当日、庁舎4階に設置された受付場所にて、氏名、住所などを受付票に記入し、議場へご入場ください。

### 今号の主な内容

- 12月定例会からピックアップ
- 研修会・表彰
- 町政を問う ～ 一般質問 ～

# 台風被害の影響が色濃く 出た議会となる

台風19号の被災関連事業に関する専決処分の承認・補正予算など10議案を可決、選挙管理委員会委員の選挙をしました。

## 条例の制定・改正

### 長瀬町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

この条例は、地方自治法等の改正により1年未満として採用する職員の形態や給与及び費用弁償等を定めるために制定しました。

〔主な質疑〕

Qフルタイム会計年度任用職員とパートタイム会計年度任用職員は何人か。また、パートタイムの期末手当の支給は週15時間30分以上の者か。

Aフルタイム2人、パートタイム27人を予定しています。パートタイムは給食センターの調理員が対象で、期末手当が支給されるのは週15時間30分以上の勤務者です。

### 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

この条例は、地方自治法の改正により特別職非常勤職員を明らかにするために改正を行いました。

〔主な質疑〕

Q特別職非常勤職員の勤務時間が1日に付き4時間に満たない場合の報酬は、日額の2分の1ということによいか。

A4時間以内であれば、日額の2分の1の報酬額になります。

### 長瀬町立公民館設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例

教育委員会で所管する施設について、10月の消費税改定を契機として使用料の見直しを行い、公平な負担額と決めました。

〔主な質疑〕

Q受益者負担は必要と考えるが、町民が利用するには高すぎるのではないか。

A町内それぞれの施設の使用に際しては減免規定があります。実際に町民が利用する場合は、減免措置を講じて利用いただいています。明示している使用料は、営利を目的として利用する場合の使用料です。

## 予 算

### 専決処分の承認を求めることについて（令和元年度長瀬町一般会計補正予算（第5号））

A宅内消毒の実施件数については、11月末までで25棟を予算上で見えています。

### 専決処分の承認を求めることについて（令和元年度長瀬町一般会計補正予算（第6号））

### 令和元年度長瀬町一般会計補正予算（第7号）

台風19号の関連費用は、専決処分と補正予算で対応しました。主に災害ごみの撤去、町道等の復旧、災害援助貸付金の貸し付けを実施します。

〔主な質疑〕

Q床上・床下浸水をした住宅の消毒は、何世帯ぐらい見込まれているのか。



流れ出た土砂が道をふさいだ

## その他

### 指定管理者の指定について

長瀬駅前前の観光情報館は、令和2年4月1日から、再び長瀬町観光協会が管理することになりました。

〔主な質疑〕

Q指定管理料を支払わずに、観光情報館を観光協会に使わせるほうがよいのではないか。

A観光協会に包括的に業務を請け負わせたほうが、効率よく安価に業務ができると考えられます。

Q将来的に観光税や環境協力金の徴収を考えているか。

Aそのような時期が来たなら、そうした方向も考えていきたいと思えます。

#### 反対討論

▼関口雅敬…観光協会だけが使用する観光情報館は指定管理料を払わず、全てを観光協会に委ねて使用させれば、観光協会や町にもよい影響が出る。

#### 賛成討論

▼染野光谷…観光協会長も変わり、今後は観光協会は自活できるように努力するのではないかと思う。今後に期待を込めて賛成する。

### ● 選挙管理委員の選挙 ●

令和元年12月24日で任期満了となった、選挙管理委員と選挙管理委員（補充員）の選挙を行いました。

選挙管理委員	にしざわ やすお 西澤 泰雄氏 (73歳・上長瀬区)	さかうえ とよとし 坂上 豊年氏 (65歳・石原区)
	さいとう きくお 齊藤 喜久夫氏 (68歳・岩田区)	あらふね いさお 新船 勲氏 (65歳・矢那瀬上郷区)
選挙管理委員(補充員)	いわた ひでなり 岩田 秀成氏 (63歳・井戸下郷区)	すが みつこ 須賀 光子氏 (65歳・矢那瀬上郷区)
	たかはし ただお 高橋 忠男氏 (67歳・上袋区)	まつもと たかまさ 松本 高正氏 (66歳・滝の上区)

お知らせします 審議した議案と議員の賛否		審議結果	板谷定美	井上悟史	野原隆男	岩田務	村田徹也	野口健二	関口雅敬	大島瑠美子	新井利朗	染野光谷
専決処分	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度長瀬町一般会計補正予算（第5号））	承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度長瀬町一般会計補正予算（第6号））	承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和元年度補正予算	一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
条例の制定・改正	長瀬町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	長瀬町行政財産の使用料に関する条例	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	長瀬町立公民館設置及び管理に関する条例等	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
その他	指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○

○：賛成 ×：反対 -：議長は採決には加わらず、賛否同数の場合のみ議長裁決として表明します



# 研修会・表彰



## 地方の活性化施策の実践を学ぶ

秩父地域議長会議員研修会

11月6日に秩父市歴史伝承館で、秩父地域議長会による講演会が開催され、当議会から4名が出席しました。講師には前京都府知事の山田啓二氏を迎え、演目は「地方の未来に向かって」と題し、その豊富な経験から得られた知識を約1時間にわたってご講演いただきました。

山田氏は、京都府という大きな組織のトップを務められたわけですが、小さな自治体である当町にも共通して活かすことのできる内容が多分にありました。



## 景観の保全と農業実習の取り組みを視察

秩父地域議長会正副議長視察研修会

11月11日から12日にかけて、秩父地域議長会の正副議長で、福島県南会津郡下郷町と喜多方市を視察しました。

下郷町では、茅葺き屋根の趣を残した大内宿の景観保全事業について説明を受け、喜多方市では小学校の授業に農業を取り入れた特色ある事業の説明を受けました。



## 群馬県の多目的ダムハツ場ダムを視察

議員連盟視察研修

11月15日に、秩父地域の議員連盟による視察があり、試験湛水を行っているハツ場ダムを訪れました。ハツ場ダムは、完成後は工業用水等に用いられる水を確保するほか河川の調整に用いられる予定で、埼玉県にとっても重要な施設です。



## 埼玉県知事表彰

令和元年11月14日に、さいたま市の埼玉会館で開催された受賞者表彰式において、関口議員が自治功労表彰を受賞しました。





せきぐちまさたか  
関口雅敬議員

## 災害対応について

〔町長〕 初動マニュアルに沿って臨機応変に対応できました

Q 職員の参集、行動はマニュアルどおりにできたのか。

A 前の日より、マニュアルに沿って準備や行動が臨機応変にできました。

Q 豪雨の中、毛布や物資を持参しながらの避難行動は困難ではないか。

A 避難所には緊急用のための備蓄品があったが、数に限りがあったので協力をいただきました。

Q 備蓄品は分散して備蓄したほうが効率がいいのではないか。

A 分散備蓄は保管管理が大変です。車で各避難所へ配送しましたが、それで支障はありませんでした。

Q 発電機などは何台保有し、不足する事態はないのか。

A 発電機4台、蓄電池6台を保有していますが、今回は使用していません。不足するときは、消防団や提携企業のものも使います。

### 矢那瀬拠点づくり構想の進捗状況について

Q 9月定例会で質疑した以降、矢那瀬地区拠点づくり構想について話し合いが持たれたか。それはどのような内容だったのか。

A 9月議会後に会長と数回面談をしました。計画を策定しましたが、住民の協力が得られず、実施が難しい状況です。

### 水道事業に関する町の働きかけについて

Q 水道管から家屋まで莫大な費用負担で水道を引かなければならない世帯について、秩父広域市町村圏組合に働きかけられないか。

A 水道事業は、広域水道局が管理運営しています。本管から500メートルの距離でも、自宅敷地まで引く費用は個人負担です。当町だけ例外の扱いは難しいですが、そうした話があることは伝えます。



いわた つとむ  
岩田 務議員

## 災害対策等について

〔町長〕 今回の災害を教訓に災害に備えたい

Q 9月の台風15号に続き、10月の台風19号は、日本各地に甚大な被害をもたらした。当町では、死傷者が出なかったものの浸水被害や流出被害があった。台風前に行った事前対策と事後対応などの再考について伺う。

A 両台風ともに事前に対策会議を開き対応を協議しました。台風19号は、被害が甚大になる可能性が高かったため、早めの避難を広報するとともに、集会所の避難所開放を区長に依頼しました。

台風通過後は、両台風ともに早い段階で道路・河川の点検を行い被害状況の確認をしました。台風19号では、区長を通じて被災宅地を把握し、現地確認を行いました。これらの経験から得られた反省点や課題をまとめあげ、今後の対策本部の機能向上に生かします。

Q 避難状況について伺う。

A 6つの避難所に469名が避難しました。また、福祉避難所に指定されている「縄文の里」に9名、地区の集会所に29名が避難されました。

Q 被害状況への対応と支援状況について伺う。

A 住宅の床上浸水が5件、床下浸水が15件あり、床上消毒と災害ごみの回収を行いました。また、事業所等の床上浸水が9件ありました。その他土砂流出・倒木が林道4カ所、地滑りと舗装の損傷が町道でそれぞれ1カ所確認されました。

Q あらゆる災害を想定した備えについて伺う。

A 今回の災害で得た教訓を職員全体で共有し、マニュアルや備蓄品を見直すだけでなく、最新の情報を常に収集し、警察や消防など関係機関との連携を強めることで、今後増えるであろう大雨や地震のほか、あらゆる災害に備えていきたいと思えます。



むら たてつや  
村田徹也議員

## 防災訓練の実施について

〔町長〕全町的な訓練を令和2年度に実施します

Q昨年度、町は全町的な防災訓練を来年度実施すると表明したが、見込みはどうか。

A本年度、実施予定外の参議院議員補欠選挙や台風災害等があり実施できませんでした。令和2年度は実施できるように努めます。

Q災害発生時の避難場所が周知されておらず、また中央公民館は避難場所として適当ではないのではないか。

A最終避難所は、5カ所指定しています。中央公民館は標高が高く、一段高く建設してあるので、浸水被害はないと考えています。

Q町内の自主防災組織の組織率は、どの程度で機能を発揮できる体制となっているか。

A現在、町内に21の自主防災組織があり、各区長を中心に活動できるようになっています。

### 高齢者施策について

Q当町の高齢化率は37%を超え国を先行しているが、その実態をどのように把握して施策に生かしているのか。

A高齢者福祉計画・介護保健事業計画において現状を把握しています。それをもとに、地域包括ケアシステムの構築に向け施策を進めているところです。

Q町の高齢者支援で最重要なのは安否確認と思われる。それにはサロンを立ち上げ、全町的にコミュニティを醸成しなければ、孤立地域ができてしまうのではないかと。

A町としては、支え合い長瀬や民生委員が中心となり地域の力で広げていくほうがよいと考えています。

Qアクティブシニアの活用はいかがか。

A元気な高齢者の方々には積極的にボランティア等に参加していただきたいと思っています。



の ほらたか お  
野原隆男議員

## 台風19号被害による観光資源の復旧見通しについて

〔産業観光課長〕観光資源の復旧は関係機関に働きかけ進めたい

Q観光資源である岩畳や関東ふれあいの道、長瀬アルプス登山コース、宝登山の登山道、蓬莱島公園等が台風19号の影響により、通行不能や利用禁止になっているところが多数ある。

復旧には多額の費用と時間が必要だと思うが、災害復旧が遅れることは観光地のイメージダウンと観光客の減少につながる。一刻も早い復旧と受け入れ体制の整備が必要と考えられるが、復旧の見通しと概算費用について伺う。

A岩畳周辺は、国や県の大変厳しい規制や制限があります。県の関係機関と町が調整をして観光協会が中心となり、ごみや流木の撤去、敷ならしなどの清掃活動が行われました。

長瀬アルプス登山コースは、民有地が多く復旧は難しい状況です。

関東ふれあいの道は、埼玉県秩父環境管理事務所から12月中に作業に入る予定との連絡を得ています。

宝登山の登山道は町道ですが、復旧までの時間が見込めなかったため、小動物園への通路であることから秩父鉄道と宝登山興業に仮復旧工事をしてもらうことにしました。

蓬莱島公園は国の補助金で整備したため、事前の手续等が必要となり、建設課が県と相談しています。復旧にかかる費用は、現時点では把握できていません。



大きな爪痕が残る蓬莱島公園



あらいとしろう  
新井利朗議員

## 町道補修原材料の支給について

〔建設課長〕 町道の整備は道路の補修工事等で対応を検討

Q生活に密着する未舗装道路について、町から原材料の支給を受けて住民が工事することになっているが、生活の多様化や高齢化により困難な状況である。業者の協力を得るのに重機費やオペレーター費を支給対象にできないか伺う。

A長瀬町道路整備原材料支給要綱は、地域住民が自発的に行う町道等の整備に用する原材料を町が支給する制度です。支給材料は、生コンクリート・砕石・砂等です。

整備の方法は、区長の申請により、町が原材料を支給し、行政区で整備していただくもので、やむを得ず行政区で実施できない作業がある場合は、原材料費以外の経費は行政区が負担し、専門業者で行っていただきます。

生コンクリートの支給件数が少ないのは、高齢化により住民の作業が難しい状況や官民境界の確定を

する必要があることも原因だと考えられます。

以前にも提案いただき検討しましたが、地域住民が自発的に行う整備に要する原材料を支給するという趣旨を考慮した結果、支給範囲の拡大は行わないこととしました。

重機が必要となる町道等の整備は、原材料費支給の範囲を超えますので、そうした道路は補修工事等で対応することも含め、検討していきたいと思えます。



大雨のたびに表土が流される町道



いたやさだみ  
板谷定美議員

## 観光地内の清掃協力金の徴収について

〔町長〕 そのような時期が来れば判断したい

Q当町は県内でも有数の観光地として知られ、多くの観光客が来ているが、観光客が捨てるごみや使用するトイレの清掃にかかる費用もかなりの税金を投入している現状である。それらの費用は、利用者に負担していただくのが適当であると思われる。観光客から清掃協力金を徴収し、清掃費等の一部に充てる考えがあるか伺う。

A若手職員で組織する「みらい創りプロジェクトチーム」内で観光協力金について検討中。清掃協力金を含めて、導入可能か判断したいと考えています。

### ハザードマップの見直しについて

Q今回の災害後に町から各行政区にハザードマップが配布され、各公会堂等に掲示するよう依頼があった。しかし、ハザードマップに記載されている避難所は、避難所に適していない場所が指定されているように思える。配布されたハザードマッ

プは十分機能すると考えているのか。また、見直しをする場合は、どのようなスケジュールを考えているのか伺う。

A作成当時からさまざまなことが変化しているため、見直しは必要と考えています。見直しは、秩父地域の浸水想定区域が公開されてから行う予定です。

### 余裕教室を備蓄庫として活用することは

Q児童・生徒の減少により、小中学校には余裕教室があるのではないかと。体育館も避難所に指定されていることから、余裕教室に備蓄品を保管しておけば、災害が発生したときに迅速かつ安全に備蓄品を供給することが可能になると思われる。小中学校の余裕教室を備蓄庫に転用する考えがあるか伺う。

A現在、小中学校に余裕教室はありません。よって、いままでどおり役場での集中管理をしていきます。



おしまる みこ  
大島瑠美子 議員

## 職員の接遇研修について

〔町長〕 日ごろの業務の中で接遇能力を高めていきたい

◎職員の世代交代が進むとともに、若い職員が増えており、窓口等に対応する職員のイメージも様変わりしていると感じる。経験の浅い職員は、住民への対応が不慣れな面があるかもしれない。また職場に慣れてしまったせいも、あいさつや窓口での対応が気になる職員もいる。そこで、職員としての質の向上からも接遇を身につける必要があると思う。町では職員に対して、どのくらいの接遇研修を行っているのか伺う。

△新任職員の接遇研修は、彩の国さいたまづくり広域連合が実施する新規採用職員研修を受講し、その中で接遇研修を学んできていますし、当町役場接遇マニュアルで新任職員に説明しています。

また、日ごろの業務の中で先輩職員の丁寧な接遇を見て、仕事の進め方を習得させています。職員全体が初心を忘れず町役場の顔であることの認識を持って、町民の方と対応するよう指導しています。

## 有害鳥獣対策について

◎畑等でイノシシ・ハクビシン・シカ等が出没し、農作物を荒らす被害が続出している。町では猟友会と共同で有害鳥獣の駆除に当たっているようですが、町で把握している農作物の被害状況と有害鳥獣の駆除頭数を伺う。

△被害面積が9.4ヘクタール、被害総額は約380万円。駆除頭数は、平成29年度がシカ15頭、イノシシ16頭、アライグマ4頭、ハクビシン1頭、アナグマ1頭の計37頭。平成30年度がシカ23頭、イノシシ35頭、アライグマ6頭、ハクビシン3頭の計70頭。令和元年度10月末現在でシカ7頭、イノシシ10頭、アライグマ10頭の計27頭です。

### 【その他の質問】

- ・消防団の報酬の増額について
- ・小学生向けの防災教育について

## みんなの 広場



### 「議員の皆さんにお願い」

少子高齢化のほかにもさまざまな課題を抱える当町。実際、私のまわりにも苦しんでいる方がたくさんいます。今後も住み続ける私にできることは、町の取り組みに協力しながら、改善すべき点などを積極的に発言していくことだと考えています。そして議員の皆様には、子育て・教育・高齢化と向き合っている現場に足を運んでいただきたいと思います。そこから数字にはあらわれない現実の町の姿を見極め、議会の場で将来のまちづくりに生かしてほしいです。(M・Sさん・40歳)

### 「議会傍聴雑感」

毎日、変化のない生活を送っている者にとって、議会の傍聴は大変興味深く楽しみです。議場での議員の熱心な発言には、心打たれる場面が多くあります。

しかし、議員としての感想を述べているのか、質問なのか全く読み取れない場面も多々あります。これは、傍聴者としてわたしの勉強不足なのか、見識の無さなのか知る術はありません。

自分は、議場すべての場面を笑って許せるだけの心の広さを持ち合わせていません。しかし、今後も傍聴を続け、議会の存在を見極めていくつもりです。(H・Sさん・70歳)

ながとろ町

議会だより No.12

令和元年12月定例会／2月1日発行  
発行：埼玉県長瀬町議会

編集：長瀬町議会だより編集委員会

委員長：野口 健二 副委員長：岩田 務・板谷 定美

### 編集後記

12月定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。台風19号の影響もあり、災害対応が色濃く出たものになりました。この議会だよりは、読む方にわかりやすく配慮しましたので、多くの皆様に読んでいただくことを期待します。(関口雅敬)